

第 1556 回例会報告
(ZC 訪問合同例会)

2025 年 7 月 18 日

バロー文化ホール 大会議室
多治見陶都 LC 幹事 L.高木 剛

◎会長歓迎挨拶 L.岡山賢司(多治見 LC)

みなさん、こんばんは。今年度多治見ライオンズクラブの会長を拝命しましたライオン岡山賢司と申します。よろしくお願ひします。今日の合同例会は多治見陶都ライオンズクラブの担当例会という事で、多治見陶都ライオンズクラブの皆様には、例会の設営をしていただきまして誠にありがとうございます。

ZC の歓迎の挨拶という事でございますが、今年度は多治見ライオンズクラブから ZCL.佐藤豊はじめ ZCA の L.太田守、L.足立判太郎、また地区役員として 5 名のメンバーが輩出されております。我々も精一杯バックアップさせていただきますので佐藤 ZC はじめ役員の皆様一年間頑張ってください。また陶都ライオンズクラブの皆様におかれましても、同じ多治見市のクラブとして応援いただけますよう、どうぞよろしくお願ひ致します。

さて、本年度多治見ライオンズクラブのスローガンとして、「ともに歩み・ともに支えともに奉仕」とさせていただきます。メンバー一人ひとりが持つ力を大切にしながら、支え合い、そして地域と共に歩むクラブでありたいと願っております。

また、多治見ライオンズクラブは、前年度に 65 周年を迎えた長い歴史と伝統を持つクラブです。その誇りを胸に、そして新たな視点も取り入れながら、前向きに活動してまいりたいと思ひます。

今年度の主な事業といたしましては、まず小中学校向けの薬物乱用防止出前講座です。夏休み前に講座をお願いしたいという要望があり、今月 11 日と 16 日に小泉中・平和中へ行ってまいりました。こちらについては全員講師の資格の取得をめざしていきたいと考えております。

また、10 月、翌年 4 月の年 2 回の献血活動にも注力しております。こちらはボーイスカウトの子供たちにも協力していただき、より多くの献血者を増やしていこうと考えております。そして、10 月の献血と同時に、メンバーの L.岩瀬愛子の協力の元、アイヘルスケアプロジェクトも同時に行い、市民の目の健康を守る活動も予定しております。

このほかにもキャビネットの基本方針でもあります会員増強や LCIF など積極的に頑張っておりたいと思ひますので一年間どうぞよろしくお願ひいたします
ありがとうございました。

◎会長歓迎挨拶 L.黒肱功藏(多治見陶都 LC)

皆様、改めまして、こんばんは。本年度、多治見陶都ライオンズクラブ会長を拝命されております、ライオン黒肱でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。本日は、佐藤豊 ZC 並びに太田 ZCA、足立 ZCA、お越しいたいただきましてありがとうございます。また、多治見ライオンズの皆様におきましては、お忙しい中、また暑い中、合同例会に参加いただきまして、誠にありがとうございます。先ほども岡山会長の方からありましたように、多治見市において我々陶都ライオンズクラブ、大変微力ではあります、佐藤 ZC を応援させていただくように、頑張っていきたいと思ひますので、ご支援どうぞよろしくお願ひいたします。

我々陶都ライオンズクラブの本年度のスローガンとしましては

「感謝と笑顔で We Serve」、この感謝というのは、地域の皆様に対する感謝もございますし、我々ライオンズクラブを今まで築いてきてくださった先輩に対する感謝、いろいろな感謝のもとに、笑顔を持って、奉仕活動をしていこうということで、立てさせていただきました。

本年度事業内容にしましては、継続事業を引き続き大切にして行っていきたいと思っております。

環境保全としまして、まちかどオアシス、保育園の砂場清掃、国際ライオンズデー世界奉仕デーですね、その時には参加者を募って清掃活動をしていきたいと思っております。新しい取り組みとしましてですね、青少年に関しまして、ママズカフェさんが企画しております、「ママズ基金制服サポートプログラム」。進学に際して経済的に不安があるご家庭の制服オーナーとして制服購入に係る費用をサポートするという事業に参加させていただく、ということで計画しております。それと、家族例会として最近見られなくなった「餅つき」をやりたいと計画しております。前年度丹羽ガバナーが、「楽しくなくちゃライオンズ」という言葉を残されましたが、この言葉を今年度も引き続いて、「楽しくなくちゃライオンズ」で、多治見陶都ライオンズクラブはやっていきたいと思っておりますので、一年間どうぞよろしく願いいたします。

ありがとうございました。



多治見 LC 会長 L.岡山賢司



多治見陶都 LC 会長 L.黒肱功藏

◎ZC 挨拶 L.佐藤 豊(多治見 LC)

多治見ライオンズクラブの皆さん、多治見陶都ライオンズクラブの皆さん、改めましてこんばんは。まずもって本日は、ZC 訪問例会ということで、このような例会を開催していただきまして、ありがとうございます。またホストとして多治見陶都ライオンズクラブさんには、設営ありがとうございます。私は、今期国際協会 334-B 地区、2 リジョン 3 ゾーンの ZC を拝命いたしました、多治見ライオンズクラブの佐藤 豊と申します。よろしく願いします。

7 月に年度が始まりまして、この ZC 訪問例会というのが、私の ZC としての初めての公務です。今日は、私のホームグラウンドということで、かえって知った顔がたくさんいる分、ちょっと余計に緊張しているような気がします。

一昨日、昼間、瑞浪・瑞浪桔梗さんの合同例会に参加しました。夜は土岐・土岐織部の訪問例会に参加させていただきました。どちらもまだ 2 回目で、不慣れなのか、今日みたいに音楽がなかなか出ずに気まずい雰囲気の流れを覚えています。さすがにアカペラまではいかなかったもので、本当に今日は印象に残る例会かなと思います。

例会の方はというと、テール・ツイスターさんが非常に盛り上げて楽しい例会だった印象が残

っています。昼例会の方は例会が終わった後に、瑞浪ライオンズクラブさんの事務局でお茶を飲みながら、皆さんと、いろんな話をさせていただきました。夜は土岐さんと土岐織部さんと一緒に夜にお酒を飲みながら、本音の話をいろいろさせてもらいまして、例会は本当は表面上の話しかできませんが、夜は本音の話ができて、非常にいい交流ができるかなと思いました。

さて、これから本題に入りますが、ZC とは、地区ガバナの基本方針を皆さんにお伝えして、それを手助けして、なるべく実行していくと。逆に、このゾーン内のことをキャビネットの方に上げながら、お互いの意思疎通をスムーズにやるという役だと思っております。そこで、もう今年に加藤謙一ガバナーの基本方針が出ておりますので、それを今日は皆さんにちょっとお伝えしたいなというふうに思います。

主題が Open a new chapter, We Serve という主題になっておりまして、日本語訳をすると、クラブ活動を活性化するため、新しい章、物語を開始し、社会奉仕に邁進しようという主題になっております。

副題の方が、~more intellectual, more flexible, more enjoyable~ ということで、もっと知的に、もっと自由に、そしてもっと楽しくという副題が聞いております。

その後に基本方針が 4 つに分かれておりまして、今年の初めからもう何回も何回も研修をさせていただいて、ガバナーの思いをいろいろ承ってきましたので、そこから二つほど、やりたいことを絞ってお伝えしようと思っております。

まずは会員拡大。今まで何年も何年も会員拡大ということで一番目に上げてみえました。会員拡大というものの、皆さん一生懸命新入会員を入れても年度終わりになると、結局は退会者がそれ以上にあって、最終的にはマイナスというようなことがここ何年も何年も続いております。去年一年間の会員数の変遷を見ますと、多治見さんは新入会員が 5 名、退会者が 8 名でマイナス 3 ということになっています。これは家族会員も含めてなので、正会員にするとまたちょっと違ってくると思いますけど、土岐さんは 5 名の方が入られて 5 名が退会されてマイナスプラスマイナスゼロというふうになっております。このゾーン 6 クラブの統計を見ますと、22 人の会員が入られて、26 名が退会される。結局、マイナス 4 名ということで、そんなことがもう本当にさっき言ったように何年も続いておりまして、地区で言うと、年間約 350 人の退会者が出ているというふうに聞いております。

今までのやり方をしていると、いくらでたってもそれが解消されずにじり貧になっていくということで、当然、今までのやり方は一生懸命やらなきゃいけないですけど、なるべく退会者を減らす努力をしよう。あとは、何年か前から行っているキャンパスクラブ、スペシャリティクラブに力を入れて今年をやっていききたいということを言っておられました。皆さんご存知かどうか分かりませんが、キャンパスクラブというのは学生の会員です。スペシャリティクラブというのは、いろんな活動が特化されているクラブ、例えばゴルフだけやっているクラブもスペシャリティクラブだそうです。あとはクラブ支部ということで、奉仕をしたい人が 5 人以上集まればできるということで、そちらの方に力を入れたいということを強く言っておられました。

もう一つの柱としては、これも毎年で見 LCIF ということで、これも去年の実績を見ますと、去年の丹羽ガバナーは、年間 34 万ドルを目標にしてされて、去年一年間で見事に達成されました。素晴らしいことだと思います。今年度、加藤ガバナーは、それよりちょっと低めの 30 万ドルというのを目標に掲げてきておられます。4 万ドルちょっと少ないじゃないかって言われますが、会員数も減少している中、30 万ドルを達成できれば、素晴らしいことだと、加藤ガバナーが言ってみて、その 30 万ドルの内訳、去年ですと、陶都さんが非常にたくさん寄付をされて、21, 655

ドルかな。この6ゾーンの中では一番たくさん寄付されていますが、まあ1000ドル寄付をたくさんやるのは本当に早いことなのですが、加藤ガバナーが言うてみるのは、何年か前からやっている1人100ドル寄付、今のレートでいうと1万5000円ぐらいになると思いますけど、それぐらいだったらそんなに負担にならないから、100ドル寄付をなるべく多くの方にやってもらって、できれば100%の方にやっていただくというのを目標にして、30万ドルを会員数で割ると120ドルということになるらしいので、全員が100ドル寄付をして、あとは1000ドル寄付がちょっとあれば十分達成できる金額かなというふうに言うていました。あと、そのLCIFについては、日本人はLCIFに出す方は世界の中でも結構トップクラスがそうですけど、それを上手に使うということがまだまだできていないそうなので、申請すれば寄付した分の15%を使えるという話なので、そちらの方もぜひ使ってほしいということも出ていました。

この2点が今年度の加藤ガバナーの最重点項目だと私は思っていますので、それに向けて皆さんもぜひご協力の方をお願いしたいと思っております。長くなりましたが、加藤謙一ガバナーの方針が少しでも伝われば幸いです。

最後になりましたけど、今年一年、ZCAの太田ライオン、足立半太郎ライオン、共々よろしくお願いいたしまして、ZCA挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



ZC L.佐藤 豊 (多治見 LC 所属)



ZCA L.足立判太郎 (左) L.太田 守 (中央)

◎334-B 地区委嘱状の授与

- | | |
|-------------|---------|
| 名誉顧問会 議長 | L.丹羽浩康 |
| 名誉顧問 | L.松尾精介 |
| 地区 WYPT 委員 | L.伊藤雅也 |
| 地区 IT・MC 委員 | L.田中勝也 |
| 地区福祉委員 | L.宮崎雄一郎 |
| 地区 YCE 委員 | L.加藤力也 |
| 地区青少年健全委員 | L.奥村真司 |



◎出席報告 L.鈴木亜由美

- | | |
|--------|-------|
| 実質出席者数 | 55名 |
| 出席 | 40名 |
| 出席率 | 72.7% |